

がんの好物を 罠にして退治する。

この医療が当たり前になった未来を想像してみませんか？
それは、体への負担も副作用も少ない治療で、すい臓がんなど
難しいがんからの回復も見込める未来。藤田医科大学は、体の
内部から放射線を当て、がん細胞を見逃さずに狙い撃ちできる
診断・治療一体型の「セラノスティクス」の研究を進めています。
がん細胞が好んで取り込む抗体をおとりと考え、病巣の大きさや
位置を診断するための核種（放射性物質）を製作し、治療も施せる
「核種×薬」の組合せを検証。罹患した一人ひとりに個別化した
治療を、核医学の力で早期に実現することを目指しています。

救える力を、創りだす。



藤田医科大学



藤田医科大学医学部

放射線医学

